

じゃっと新聞

NO.44 号

定期総会のお知らせ

発行日：2006 年 4 月 25 日

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町

11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



用水路で水遊びをして遊ぶ子供たち

(まもなく 1 年で最も暑い 4 月を迎えます)

会 長 小 幡 順 子

さる 3 月 10 日、福岡市にて西日本国際財団「アジア貢献賞」の受賞式が行なわれ、今年度の受賞者として他 2 団体と共に受賞してまいりました。

この「アジア貢献賞」は、九州・山口地区の各県から推薦された国際ボランティア団体の中から毎年 3 団体に送られるもので、今年で第 7 回になります。

「じゃっと」は鹿児島県において 3 番目の受賞者となりました。

私たち「じゃっと」は、「学校保健の充実」というソフトの援助を行なう事が主な活動内容であることは、すでに会員の皆様御理解のことと思います。このソフトを届けるということは、学校を寄贈するな

どの形あるものを援助する事と比べ地味な活動です。なかなか評価しにくい活動であるにもかかわらず、今回の受賞となりました。

今回このように非常に影響力のある賞をいただけることになり、「私たちの活動をちゃんと評価してもらえたのだ」という喜びと、「いろんな所から見られているのだ」という身の引き締まる思いと両方あるというのが正直なところです。

この賞に恥じる事のないように、これからもラオス学校保健充実のお手伝いをしていきたいと思えます。皆さん一緒にがんばりましょう。なお一層の御意見・御希望をお待ちしています。

LAOS 現地活動報告 2005



Dr ソムチット報告

1.はじめに

じゃっどは、ラオスにおいて、特にビエンチャン特別市において、学校の修復、トイレの建設、水道の設備、机イス黒板の寄付など、多くの小学校をサポートしてきました。

さらに、じゃっどのラオススタッフは、小学生に健康診断をし、駆虫薬、ミルク、ノートやペンを供与し、子供たちに健康教育を行い、同様に教師にもセミナーを行いました。また教師には、健康教育の知識をもってもらうため、勉強会を開きました。昨年、そして今年と紙芝居と衛生の歌のCDも供与しました。

じゃっどは過去数年前から、ボケオ県とサヤブリ県にプロジェクトを拡大してきました。プロジェクトの責任者である医師は、ビエンチャンのように、同様の活動を実施しました。さらに、ウドムサイ県でも実施され、日本からじゃっどの会員がこのプロジェクトの責任を任されました。しかし現在、ウドムサイでのこの活動はすでに、終了しましたが、プロジェクトを首尾よく実施するため、引き続き、私たちはスーパービジョンを行いました。

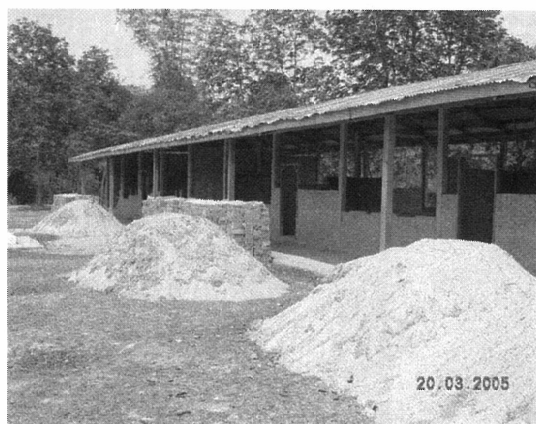
2.スーパービジョン

ビエンチャン特別市において

プロジェクトにより供与された多くのトイレが、ノンケーン、ナテ、ドンガラオ小学校で自転車ポンプが故障していて、水が出ないため、使用されていない事がわかりました。自転車ポンプがたびたび故障するので、トイレの水が不足していてトイレが使えないという問題に直面していました。部品を調達するのが容易ではないため、電気タイプのものにしたとの、提案も受けました。サムケット小学校のように、いくつかの小学校は生徒の為に机といすを

必要としています。また、この学校には、電気配線工事と、扇風機6台を供与しました。

サイセタ郡の教育省からは、教師を教育するための財務上の援助の依頼を受けました。ノンケーン小学校は、校舎を修理するため、セメント、ブロック、砂などの材料を依頼していましたが、じゃっどの援助で、完成しました。地域(村)は、窓やドアを作るための木と労働力を提供しました。以下写真をご覧ください。



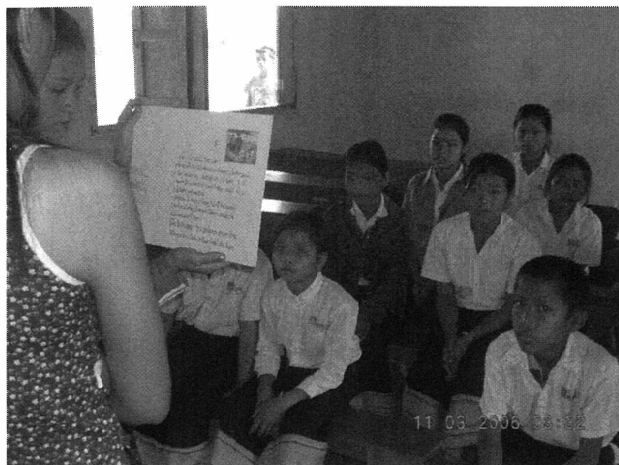
☆レンガと砂が積み上げてあります。校舎の壁が未完成です(1年前)。といっても、新築中なのではなく、この状態のままで、長い間ずっと子供たちは授業を受けていました。

☆窓と壁が完成しました。

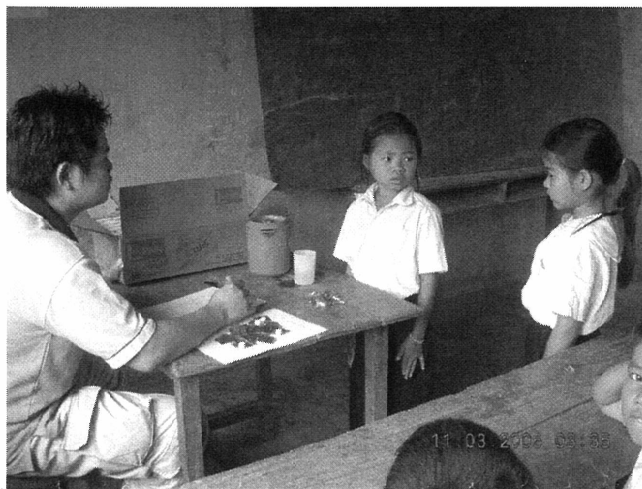


Nathair 小学校での活動

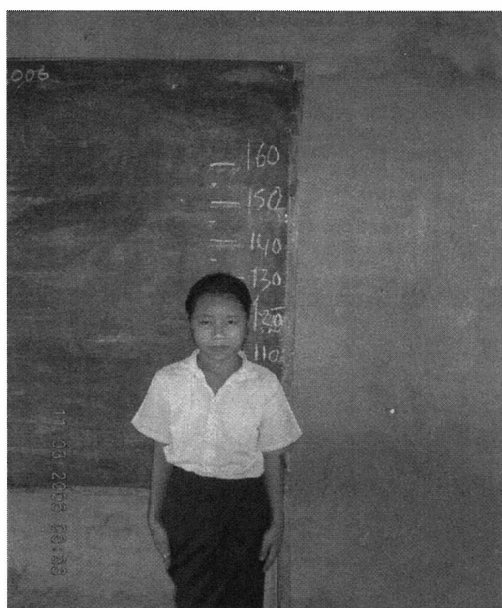
★医大生による紙芝居の読み聞かせ



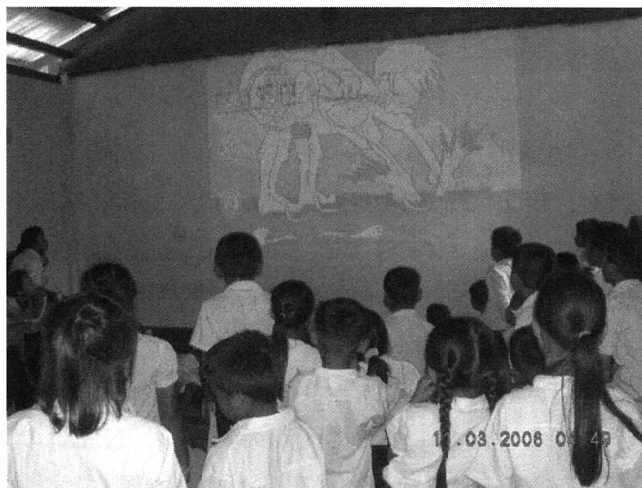
★駆虫薬を飲みます。チョッと不安げな顔



★ 身体測定



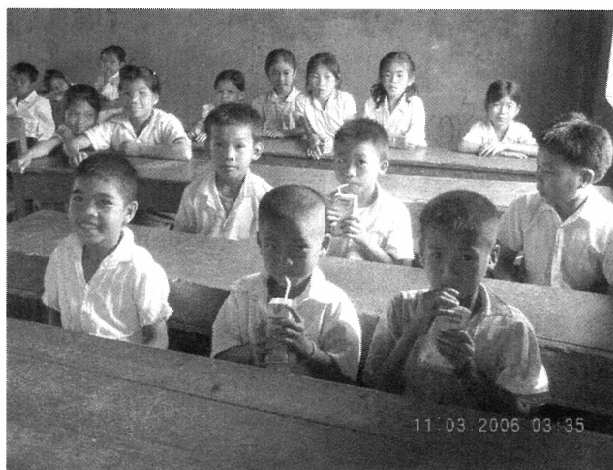
★プロジェクターを使っての衛生の授業
壁をスクリーンの代わりにしています



★ アナマイソング(衛生の歌)を唄いました



★ミルクを供与





地球市民フォーラム2006年～沈みゆく島国「ツバル」に参加して

小幡順子

さる平成18年2月5日（日）に鹿児島キャンパス稲盛会館に、写真家遠藤秀一さんを講師に招いて「環境」をテーマに地球市民フォーラムが開催されました。この会は、私たち「じゃっど」も参加している地球市民教育ネットワーク鹿児島の活動の一環で、年1回その年のテーマにあった講師をお願いして開催するもので、(財)鹿児島県国際交流協会の助成事業でもあります。

さて、みなさんは「ツバル」という国名を聞いた事がありますか？ 先日の大潮の日には、NHKの中継も行なわれた「海面上昇現象が顕著な国」です。

日本から、はるか南、赤道を越えた南太平洋に位置する人口約9000人からなる島国「ツバル」。この国が直面している現実には厳しいものがあります。

「地球温暖化」に伴う、海面上昇により海岸線が侵食され、大潮の日には内陸部まで海水がはいるため、塩害が起こり農作物などに被害が起きています。

気温が高くなると、氷河や高山の雪が溶けて海に流れ込んだり、海水が温められて膨張したりする、などが原因となって海面が上昇します。その結果、海面が低い環礁の島々や大陸の低地エリアで被害が発生しているのです。

他にも、「地球温暖化」により干ばつや集中豪雨な

どの異常気象が世界各地で目立ち始めています。近い将来、日本も被害をうける可能性があります。

今進んでいる温暖化は、人間が地中から掘り出した石油や石炭を大量に消費し、エネルギーを得て、豊かさを得た代わりに、温暖化を進める二酸化炭素を大気中にゴミとして放出した為に起こった人災だといわれます。

このままのペースで温暖化が進み、2050年に気温が2℃上昇した場合、気候リスクにさらされる人口は、約30億人であると試算されています。

「地球温暖化」を少しでも食い止めるようにと「京都議定書」が作成されたことは皆さんご存知でしょう。では、私たち一人一人に何が出来るでしょう？

フォーラムでは、「移動は近場は歩く・自転車利用、長距離は公共交通機関を活用する」「遠距離を運ばないと手に入らないものの購入は控える」（←外国産の水とか）

「レジ袋からマイバックへ」などの自分に出来る地球に優しいことの意見交換が行なわれ、盛況のうち閉会されました。

みなさんも、これを機会に自分に出来る「地球に優しい行動」について考えてみませんか？

参考資料

写真絵本「ツバル」～海拔1メートルの島国、その自然と暮らし

著者 遠藤秀一 発行 樹国土社

気候変動+2℃ 発行 ダイヤモンド社

* 「気候変動+2℃」は読んでみると、生きているのが怖くなるくらい、地球温暖化がそこまで来ているのがわかるよ～。あとパラパラ絵本みたいで楽しいぞー。

なんでも記事トピックス

さばやい.

サバイティ!

☆平成 18 年 1 月 5 日 南日本新聞
ソロプチミスト川内様より支援金を頂きました



◆NPO法人じゃっと
(小幡順子理事長)へ国
際ソロプチミスト国内・
国際奉仕分野賞 薩摩川
内市のホテルで12月20
日、国際ソロプチミスト

鹿児島市川内の瀬戸山弘子会長から、じゃっとの帖佐理子事務局長に手渡された。じゃっとはラオスの保健教育の支援を目的に1992年に同市に設立。帖佐理子事務局長は表彰式後の卓話で「事務局は薩摩川内、公用語は鹿児島弁のボランティア組織として、世界の子どもたちの保健衛生の推進、トイレの建設、絵本を通じた識字率の向上などに今後も力を尽くしたい」と話した。

西日本国際財団(福岡市、理事長・新藤恒男)のアジア貢献賞表彰式が10日、福岡市のホテルであり、薩摩川内市を拠点に活動するNPO法人「じゃっと」(小幡順子理事長)など三団体に賞状、顕彰金百万円などが贈られた。

同賞は、九州・山口でアジアの発展や国際交流に貢献している団体や個人の顕彰を目的に創設され、今回が七回目。

「じゃっと」はラオスの保健衛生の向上を目指し一九九二年に発足。トイレ・井戸の設置など物資援助にとどまらず、学校で教育セミナーを開催するなど知識教育に力を入れている。

が行って指導するのでは、現地の人に技術やノ



アジア貢献賞を受賞する「じゃっと」の小幡順子理事長(手前左) 10日、福岡市

ウハウを援助する方法が評価されたのかもしれない。現地と連絡を取りながら顕彰金の使い方を考えてい」と喜んだ。

ほかの受賞はカンボジア教育支援フロンティア、カンボジア地雷撤去キャンペーンCMC。



■西日本国際財団アジア貢献賞に決まった
NPO法人じゃっと理事長
小幡順子さん

「大やトリがうつつく教室なんて想定外。家庭には牛がいるんですよ。東南アジアのラオスで学校訪問した際、日本とかけ離れた不衛生さに驚いた。トイレがあるのに草むらで用を足す、食事の前は手を洗う習慣がない。例を挙げればきりがなかった。社会主義国ラオスは戦争や内紛のあった隣国ベトナムやカンボジアと異なり「国際援助から忘れられた国」だ。三十五歳の死に者(一九九〇年統計)は日本の千人中四人に対し、百六十三人。「寄生虫で若者



が死ぬのが珍しくない」と深刻だった。終戦直後の日本のような衛生状況を知った薩摩川内市の医師、帖佐理子さん(三十九)が二年支援団体「じゃっと」を設立。二〇〇五年のNPO法人化機に代表を引き継いだ。同市に本部を置き、国内に員百人を抱える。ラオスの子どもに保健衛生教育を行い「子から子へ」から親へと知識を普及させる「小さなお医者さんプロジェクト」を展開。小学

子から親へ衛生知識広めたい

校の補修、トイレ・井戸の設置、保健教育セミナーなど現地スタッフとともに活動するが、サポート役に徹する。「現地の指導者を育てる」ためだ。「保健衛生の大切さを分かりやすく学ぶ紙芝居や歌も作った。これまで六回訪問、改善の広がりを実感している。

「栄養士の私はおいしい食糧。ラオスはおいしい食べ物がいっぱい」と笑う南薩養護学校職員。好きな言葉は「てげてけ。肩ひじ張らず平常心を重んじる南さつ市金峰町尾下在住の四十五歳。

(川内支社・桑元伸一)

平成 18 年 3 月 15 日
南日本新聞

←西日本国際財団アジア貢献賞受賞いたしました!



←九州電力生活協同組合 鹿児島支部様より
支援金を頂戴しました。

ラオスのビッグイベント、ピーマイ……



ピー(年)、マイ(新しい)の意味があります

ラオスにはお正月が4回あります。1月1日、中国の旧正月、ベトナムの正月、ラオスの正月です。

勿論、ラオスの正月(ピーマイラーオ)が1番盛大です。4月の下旬頃から行われます。

水を掛け合い、(時には赤、青の色水だったりする)楽しめます。水をかける慣わしは、米を主食とするラオスの稲作に欠かせない雨と豊作への願いが込められています。

ルアンパバーン(世界遺産に登録されている古都)では※プーニューとニャーニュー、シンカムが祭りを盛り上げます。

※天界から降りてきた人類最初の祖先だといわれるプーニュー(お爺さん、左)、ニャーニュー(お婆さん、右)、森で捕まえてきて養子にしたという黄金の獅子、シンカム(中央後)

写真:ダイヤモンド社、地球の歩き方より



お正月といえば、モン族のきれいな民族衣装も見逃せません。モン族のお正月の日にちは決まってはいませんが、だいたい、12月か1月のどちらかになるようです。2週間から1ヵ月も行われるところもあります。この間、お見合いがあり、「鞠投げ」で、結婚相手を捜します。この日のために、モン族の女たちは、1年以上かけて、美しい刺繍を施し縫い上げます。

☆結 婚 式



白い糸が張り巡らされてるのがみえますか？

ラオス人の生活にバーシーは欠かせないものとなっています。冠婚葬祭はもちろんのこと、出生や、送迎など、人生の節目に行われる儀式のことで、祈禱師の祈りとともに、手首に白い糸を巻きつけて、健康や子孫繁栄を願います。

写真右の男性は、ラオスのスタッフ、Dr ソムチットとコンサップの長男、ココです。

【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2006年2月～2006年4月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました。（以下敬称略）

- 新規会員 飯田和詳、山口典子（薩摩川内市）小山内美江子（東京都）林美知子（福岡県）
- 平成17年度会費 仮屋洋子（薩摩川内市）中村睦子（有明町）
- 平成18年度会費 飯田和詳、山本澄子、古川孝子、矢野千鶴子、牛之浜妙子、安藤ツギエ、関隆子、新原千恵子、北住信子、内田耕也、（株）ハートフル、下尾崎健一、宇都弘子、松下忠洋、上野昌子、中村吉治、橋口喜久、庵地紘一、瀬戸山弘子、高橋清輝、山口典子、小坂ひとみ、大園孝子（薩摩川内市）内田和子、西睦夫、橋口晴美、林美知子（福岡県）豊平修、野呂忠秀、南武嗣、福田弘子、夏越久美子、時村ヨシ、森岡芳子、松野広樹（鹿児島市）尻無浜むつみ、小屋一美（いちき串木野市）小山内美江子、木場真一、堀内恵子、国田宏、長崎綾子、阿部雅昭、阿部貴美子、大熊昭晴、大熊京子、松山容子（東京都）中馬美智、帖佐秀人（日置市）宇井豊、木場貞成、木場彌生（神奈川県）中村安秀（大阪府）高野真綾（埼玉県）鮫島久志、鮫島節子、藤井洋、鳥山信子（千葉県）田邊ツル子（指宿郡）増田隆信（始良郡）高坂紀子（出水郡）
- 平成19年度会費 飯尾茂樹、小屋一美（いちき串木野市）神崎侯至、児玉充敏（薩摩川内市）帖佐久子（鹿児島市）松本貞治（東京都）
- 平成20年度会費 和地平十郎（東京都）
- 平成21年度会費 納光弘（鹿児島市）
- 寄付金 坂上恵子（鹿児島市）江口紀子、山本澄子、北住信子、田畑あかね、田畑明子、帖佐理子、庵地紘一、藤井富佐子、（株）翔葉、政経クラブ（薩摩川内市）山口素子、内田和子（福岡県）中村武（佐賀県）福田弘子、（鹿児島市）小山内美江子、木場真一、宇井豊、阿部雅昭、阿部貴美子、（東京都）斉藤洋史（埼玉県）
- 大口寄付金 国際ソロプチミスト鹿児島 5万円
九州電力生活協同組合 50万円
顕彰金 財団法人西日本国際財団 100万円
第7回西日本国際財団アジア貢献賞
助成金 薩摩川内市国際交流協会 7万円

■ 机、いす募金

北住信子、田畑明子、帖佐理子、知識友弘、政経クラブ（薩摩川内市）Annalie de Wet、山口素子（福岡県）木場貞成、木場彌生（神奈川県）国際ソロプチミスト鹿児島一川内会員一同（浜野弘江、田島さち子、山元京子、山下律子、米澤貞子、田中キミ、田中民子、上原栄子、宇都千香子、和田一代、山口節子、崎山しづ子、成松久代、芹ヶ野郁子、瀬戸山弘子、島元由紀子、砂田綾子、慶田萬知、桐原正子、小原フミ、森永靖子、村尾寿子、中俣田鶴子、星原千代子、伊集院睦子、今村妙子、垣内真理子、川田篤子、川原裕子、波江野由紀子、春山フク江、外蘭龍子、江畑昭子、額川信子、古田方子）

■ 振込用紙印刷（株）アクティブ 神崎侯至

■ 委託販売 Cuir Hair 仮屋洋子

■ 新聞作成 神崎侯至 宮脇美智子 高橋真弓

☆☆ありがとうございました。☆☆

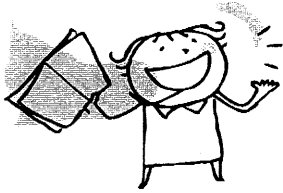
【国内活動】

- 2月4日 川内ライオンズクラブ主催 青少年健全育成意見発表会（小幡理事）
- 2月5日 地球市民ネットワーク、NGO紹介（小幡理事）
- 2月7日 川内・国際交流意見交換会（会員、伊東さん）
- 2月10日 中島氏事務所訪問（ラオス、タイなどを訪問予定）
- 2月18日 NPOパワーアップセミナー（宮脇事務局員）
- 2月22日 伊東氏事務所訪問（助成金申請書持参）
- 2月25日 国際交流団体意見交換会（小幡理事）
- 2月23日 南日本新聞社取材（小幡理事、帖佐事務局長）
- 2月28日 九州電力生活協同組合 重丸氏訪問
寄付金伝達式（古田理事、帖佐事務局長）
- 3月7日 川内交流協会意見交換会（帖佐事務局長）
- 3月10日 西日本国際財団アジア貢献賞 福岡市にて授与式（小幡理事、古田理事、高橋事務局員）
- 3月18日 国際ソロプチミスト鹿児島一川内 認証20周年記念式典（帖佐事務局長）
- 3月19日 フェスタDE国際交流（小幡理事、古田理事、帖佐事務局長、高橋、宮脇事務局員）
- 3月19日 じゃっど理事会（小幡、古田、帖佐、高橋、宮脇）
- 3月29日 読売新聞社取材（小幡理事）

じゃっど INFORMATION

★ ラオス語翻訳シール貼り

絵本のラオス語シール貼りしてくださる方募集中です。
ラオスの子供たちが楽しみに待っていますので、なるべく
早く送ってあげられるよう、ご協力よろしくお願い致します



★ 机いす募金、会費、ご寄付

4月から平成18年度となります。引き続きじゃっどをご
支援くださいますようお願いいたします。
会費のお振込は 下記または、事務局までお持ちくだ
さい

郵便局 02050-2-4746 口座名 JADDO



定期総会のお知らせ！

日時：平成18年5月20日（土曜日）

15:00～16:00

場所：すこやかふれあいプラザ

（2F 第2会議室）

TEL：0996-22-8811

第14回じゃっど定期総会を、上記の日程で開催いたし
ます。万障お繰り合わせの上、多数のご参加をお願い
致します

じゃっどスタディツアーのご案内



日程：8月4日（金）～8月9日（水）予定



募集人員：約10名

※鹿児島発着の予定ですが、それ以外の方もどうぞお問い合わせください。

ご注意！魅惑のラオスは一度行くと病みつきになりますのでご注意ください！

詳しいスケジュールは調整中です。参加者の行きたい場所、やりたい事を組み込んでいきますので、早めに事
務局までご連絡ください。また、決まりましたらホームページに UP しますので、ご覧ください。今回は、DEFC の
図書館 OPEN に合わせ、セレモニーのなかの、衛生教育を担当する予定です。

㊤㊤㊤㊤ 編集後記 ㊤㊤㊤㊤

㊤ 時間が新幹線並みに過ぎて行きます。神様はかねての行いの悪い私だけ一日を短く設定してるかも？じゃっどツアーで満喫できた
ラオスのゆっくりした時間がいーな（Kami）

㊤ フェスタ DE 国際交流に参加して、台湾、コロンビア出身者の歌や踊り、日本人によるアフリカンリズム体感、琴や日本舞踊などを見
たり聞いたりして、異文化を体験できました。何か一つでも楽器や踊りなど表現できるものを持ち合わせていたら国際交流につながる
んだなあと思います。（Miya）

㊤GW の予定が未だ決まらずにいますが、そもそも、ゴールデンウィークとは何ぞや？と調べてみました。昭和26年頃に、映画館がこの
年、1年を通して最も人の入りが多かったことからGWというようになったようです。国内移動組のうちのFMは、少なからず、最近のガ
ソリンの高値の為、県内移動組になりそうな気がします（はいぶりっじ）